

【授業科目】 公衆衛生看護活動論Ⅳ (管理論) Public Health Nursing Activities IV

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
後藤 由紀、大谷 喜美江、佐藤 優子	4年次後期	選択	2	30	講義	あり	卷末掲載	可
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック方法	授業概要/保健師課程においてこれまで学修してきた内容を統合する力と公衆衛生看護管理の志向と思考展開能力を高める授業内容である。地域の人々の健康と QOL 向上のために地域の人々や関係者と協働して行う地域保健活動について対象別、課題別でも公衆衛生看護として管理する方法を学ぶ。また新任期の保健師として理解しておくべき基本的な管理機能について考察を深めることを目指す。 課題に対するフィードバック方法/提出されたレポートにコメントをつけて返却する。提出された課題について、全体の総評コメントを資料にて公開する。 *実務経験を持つ教員が授業を進める。							
実務経験に 関する授業内容	保健師の臨地経験をもつ教員が、保健師として必要な公衆衛生看護学の知識について、テキストを使用しグループワークを交えながら指導していく科目である							
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー②「人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から看護の役割を考え、看護を実践することができる。」の達成に寄与している。							
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①公衆衛生看護管理の目的・機能を説明できる。 ②公衆衛生看護活動の実践を聞き、既知の学習と関連付けながら、看護管理の内容を理解できる。 ③地域の健康危機管理の特徴について理解を深め、公衆衛生管理上の地域の課題を明確化することができる。 ④公衆衛生看護管理上の地域の課題について、地域特性を生かした解決方法とそのための管理方法を検討することができる。							
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前・事後学習：指定の教科書や資料を事前に読み、まとめておく。(各 30 分) 講義初回に課題内容について提示する。(各回 60 分程度) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。							
授業計画	第1回 公衆衛生看護管理①：公衆衛生看護管理の目的と機能・公衆衛生看護における人材育成 第2回 公衆衛生看護管理②：公衆衛生看護管理の実際 第3回 公衆衛生看護学の基本：公衆衛生看護の歴史とPHC、活動対象とその方法、社会環境の変化と健康課題 第4回 保健福祉行政と公衆衛生看護：保健医療福祉行政のしくみ・保険医療福祉分野と各種制度 第5回 公衆衛生看護の機能①(方法論1)：個人・家族・グループへの支援(対象特性と保健行動理論、対象に応じた各種アプローチ・その理論と特徴) 第6回 公衆衛生看護の機能②(方法論2) 地域および地域における組織への支援・事業化と施策化・地域ケアシステムづくり支援 第7回 対象別公衆衛生看護活動①(母子及び女性の健康づくり活動)：母子保健活動・女性のライフステージに応じた健康支援 第8回 対象別公衆衛生看護活動②(成人・高齢者の保健活動)：成人の健康課題と保健制度・高齢者の健康課題と保健制度・対象に応じた各種アプローチ・その理論と特徴 第9回 対象別公衆衛生看護活動④(障がい者保健および難病)：地域で暮らす障がい者(難病含)の保健福祉の動向と支援の特徴(制度およびシステムの理解) 第10回 感染症の保健活動・歯科保健活動：感染症対策に係る制度とシステム・感染症対策と保健活動 第11回 学校保健分野の質保証：学校保健の基本・学校保健における健康課題・学校保健管理・特別な支援を必要とする子どもたちへの支援 第12回 産業保健分野の質保証：労働安全衛生と関係法規・労働安全衛生に係る組織と人材・産業保健における健康課題とその支援 第13回 健康危機管理と国際保健：健康危機とその管理体制・災害と保健活動・国際保健に係る組織と活動 第14回 公衆衛生看護活動と研究(疫学・統計学的視点)：公衆衛生に係る様々な指標・疫学調査法・主要疾患の疫学 第15回 公衆衛生看護学の統合							大谷 後藤 後藤 大谷 佐藤 後藤 大谷 佐藤 佐藤 大谷 後藤 後藤 後藤 後藤 後藤 後藤 後藤 後藤 後藤・佐藤
評価方法 評価基準	課題(20%)、受講態度(15%)、試験(65%)で総合的に評価する。							
教科書	標準保健師講座1～3：医学書院(2年次～4年次に使用した教科書)		参考書等		保健師業務要覧 日本看護協会出版会			
学生への 助言等	地域で生活する人々が健康で過ごす仕組みをより良い状態にするための公衆衛生看護管理です。保健師として卒業時に到達しておきたい項目となり、国家試験にもつながりますので、積極的に取り組まれることを期待しています							